

きれいな道路を通過

平田建設 本社前で清掃



【帯広発】(株)平田建設(土 幌、長谷川雅毅社長)は4日、本社前の道路清掃活動を実施した。毎年恒例の活動で、ことしで16回目。役員ら41人が道路脇にたまった砂利やごみを一掃するなど快適な道路環境整備に貢献した。

同社では、地域の小・中学校が新学期を迎える前のこの時期に、本社が面する道道土幌停線で清掃活動を実施している。16回目

のことは交通誘導員を含め41人の役員が参加した。

あいさつに立った長谷川社長は町内の小・中学校が入学式を迎えることから「新入生も通る道。新たな気持ちできれいな道路を通ってほしい。事故のないように住民に喜ばれるよう実施してほしい」と呼びかけた。

役員らは道道土幌停線の560区間で清掃活動に取り組んだ。竹ぼうきで砂利やごみなどを道路脇に寄せ、スワイパー2台、ハンドスワイパー6台を使ってごみを収集。快適な道路環境の整備に汗を流した。

児童の登校に備え 社屋前の道道清掃

平田建設

【帯広】平田建設(本社・土幌)は4日、社屋前の道道土幌停線で清掃奉仕に取り組んだ。写真。

新学期を迎える児童が快適に登校できるように毎年実施している、ことしで15回目となった。

社員35人が参加し、路面用スワイパーや竹ぼう



きを使い、冬の間にたまった歩道などのごみを除去した。